

潰瘍性大腸炎・パーキンソン病の重症度分類について

○潰瘍性大腸炎の重症度分類

(重症度による分類)

	重症	中等症	軽症
1) 排便回数	6回以上	重症と	4回以下
2) 顕血便	(+++)	軽症と	(+) ~ (-)
3) 発熱	37.5℃以上	の中間	(-)
4) 頻脈	90/分以上		(-)
5) 貧血	Hb 10g/dl以下		(-)
6) 赤沈	30mm/時以上		正常

(厚生省特定疾患難治性炎症性腸管障害調査研究班平成5年度研究報告書より)

※但し、重症度の判定は登録・更新時の病勢で判断する。

※加療継続中の場合も、加療による結果の病勢で判断。

(参 考)

- ・ 現行の特定疾患治療研究事業における潰瘍性大腸炎の対象範囲は、重症度分類はあるものの、重症者に限定せずに全ての患者を対象。

○パーキンソン病の重症度分類

Hoehn & Yahr 重症度

- 0度 パーキンソン病なし
- 1度 一側性パーキンソン病
- 2度 両側性パーキンソン病。姿勢反射障害なし
- 3度 軽～中等度パーキンソン病。姿勢反射障害あり。日常生活に介助不要
- 4度 高度障害を示すが、歩行は介助なしにどうにか可能
- 5度 介助なしにはベッド又は車椅子生活

生活機能障害度

- 1度 日常生活、通院にほとんど介助を要しない
- 2度 日常生活、通院に部分的介助を要する
- 3度 日常生活に全面的な介助を要し、独立では歩行起立不能

※更新の時点での、加療により得られた病勢で判断する。

(参 考)

- ・ 現行の特定疾患治療研究事業におけるパーキンソン病の対象範囲は、

Hoehn & Yahr 重症度
生活機能障害度

3度以上
2度～3度